

紫明の窓

発行：京都鞍馬口医療センター

編集：広報委員会

2018年2月 第4号



独立行政法人地域医療機能推進機構
京都鞍馬口医療センター

〒603-8151 京都市北区小山下総町27番地
TEL 075(441)6101代表 FAX 075(432)0825
URL <http://kyoto.jcho.go.jp>

地域と繋がる看護を目指して

京都鞍馬口医療センター
看護部長 濱道 千鶴代



私は平成28年4月より地元の大阪を離れ、憧れの京都に単身赴任してきました。当院から見える山々や街並みは非常に感慨深いものがあり、紫明通りの春の桜や新緑、夏の大文字、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季折々の風景は日々の仕事への活力に繋がっております。

当院では、「学生インターンシップ」を受け入れている他に、中学生による「看護体験」や「生き方探求チャレンジ体験」といった地域交流を交えて、看護師としての仕事の素晴らしさや大変さを身近に感じてもらうことも行っております。

参加される子どもたちは、初めて経験する事が多々あるので、嬉しそうに、また楽しそうに目を輝かせており、その姿は長年看護師を務めてきた私に初心を思い出させてくれる大変貴重なものです。

当院の看護部は急性期病棟、地域包括ケア病棟、訪問看護ステーション、健康管理センターとしての機能を活かし、地域住民の生活を支える専門職としてチーム医療に日々取り組んでいます。その中でがん看護専門看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、感染管理認定看護師といった専門資格を取得した者もおり、院内での取り組みだけでなく、地域の看護師、介護士、ケアマネジャーの皆さんと共に講習会や技術研修会も行っています。また、訪問看護師とともに同行訪問も実施していますので、必要なときは是非とも活用していただければ幸いです。

ご紹介いただいた患者さんがスムーズに受診や入院できるような取り組みも始めていますので、いつでもご相談ください。

ほがらかサロン

当院は平成24年に京都府がん診療推進病院の指定を受け、がん診療支援の取り組みの一環としてがんサロンを定期開催しています。サロン（＝フランス語で談話室）ならではのほがらかな雰囲気大切にしたいと『ほがらかサロン』とネーミングし、がん患者やそのご家族がお悩みや不安・体験を語り合う集いの場となっています。

これまで当院の医師・看護師・薬剤師等に加え、地域の医療機関の方にも講師をお願いし、がんにまつわるミニ学習会を行ってきました。フリートークタイムには、参加者が普段話せないことやここだから話したいことを自由に語り合います。その他、学習会の際に毎回提供させていただいている当院栄養管理室の手作りお菓子も、参加された方にご好評いただいております。

また、今年度からの試みで、絵手紙教室やドッグセラピー等のイベントも取り入れて企画運営しておりますので、当院のがん患者さんご家族に限らず、地域のがん患者さんにも当サロンに足を運んでいただきたいと思っています。

がんを患い、一人で辛い思いをされている方、きつとたくさんおられると思います。集うことで同じ思いの仲間がいることを知り、気持ち少し楽になったり、治療に前向きになれるきっかけがあるかもしれません。スタッフ一同ご参加をお待ちしております。



がん患者さんとご家族のための

第24回ほがらかサロンのご案内

がんと診断された患者さんや、そのご家族の方を対象に集いの場を開催いたします。

眠れなかったり、食欲がなかったり、気持ちが落ち込むことはありませんか？ご家族は、患者さんの傍でどのような思いをされているのでしょうか？

第24回「ほがらかサロン」では、NPO法人アンビシャスさんにご協力いただき、セラピードッグとのふれあいを通して、同じような経験をお持ちの患者さんや、そのご家族と交流を深めたいと思います。ぜひお気軽にご参加ください。

開催日時 平成30年3月9日(金)

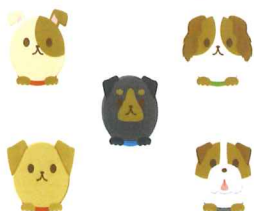
14時～15時

開催場所 京都鞍馬口医療センター 5階 講堂

内容 **ドッグセラピー**

協力:認定NPO法人アンビシャスさん

参加費 **無料**



次回開催予定

（お問い合わせは、

がん相談支援室まで）

075-441-6101(代)



〜医院紹介〜

粉川内科医院



平成5年〜14年10月まで旧社会保険京都病院（消化器内科）で勤務した後、平成14年11月から開業し今日に至っています。開業時、10月31日まで病院勤務を勤め、夜12時に帰宅翌日の11月1日からは粉川内科医院の外来診療開始と、大変慌しい開業1日目であった事を昨日のように思い出します。

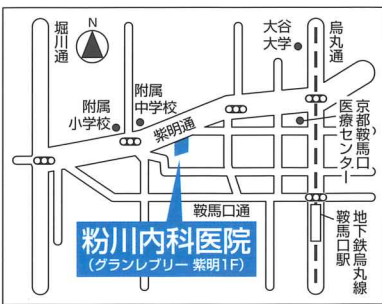
地域医療として一般内科、消化器内科の2本立の外来診療ですが、専門領域の消化器内科は治せる疾患が多くなり、少しずつ機能性疾患や心療内科的な患者さんへの対応時間が増加している印象です。昨今の医療の進歩のスピードは目を見張るものがあり、一般内科は無論、専門分野に関してもガイドラインや治療指針の変化にややもすれば遅れがちになりそうです。

京都鞍馬口医療センターには検査や治療の依頼で大変お世話になって感謝しています。開業医が病院へ紹介する場合は選択基準は、決して病院の格や名前ではなく、個々の医師であると私は考えております。京都鞍馬口医療センターにはこれからも信頼できる高いレベルを備えた地域医療の中核病院として、存在し続けていたいただきたいと願っております。

■ 診療科目…内科・消化器科

診療時間	月	火	水	木	金
午前診 AM9:00~PM12:00	○	○	○	○	○
午後診 PM1:30~PM4:30	○	○	○	×	○
夜診 PM6:00~PM8:00	○	×	○	×	×

■ 休診日/土曜・日曜・祝日
■ 診察待ち時間解消のため、新患以外は予約制
※ 新患の方は随時来院下さい



〒603-8156 京都市北区小山中溝町 15 番 11
グランプレリー紫明1階
TEL・FAX 075-451-7323

医師紹介

第四回は、石本武史先生を紹介します。



私は2005年に京都府立医科大学を卒業し、舞鶴医療センター・京都第一赤十字病院・京都府立医科大学・北部医療センター等を経て2015年4月から当院に赴任いたしました。診療は消化器外科を中心に行っております。消化器外科で扱

う疾患は虫垂炎・鼠径ヘルニアなどの良性疾患から胃癌・大腸癌などの悪性疾患まで多岐に渡ります。当院では一部の進行癌を除き多くの手術を腹腔鏡で行っています。腹腔鏡は創が小さく患者さんの負担も少ない低侵襲手術と言われ、外科医にとっても拡大視効果や広く腹腔内を観察できるなどのメリットがあります。ただし特殊な技術、腹腔鏡特有の合併症などデメリットも少なくありません。腹腔鏡手術の安全性の担保として日本内視鏡外科学会の技術認定制度というものがありますが、これはペーパーテストではなく手術のビデオ審査で可否を判定するシステムです。私自身は京都府立医科大学附属病院所属時に修練した大腸領域でこの認定医を当院赴任後に取得させていただきました。現在は他領域でも徐々に適応を拡大し、虫垂炎などの良性疾患には単孔式手術（臍の2〜3cmの創だけで行う手術）も取り入れていきます。

昨年、関東の病院で腹腔鏡手術の事故が報じられましたが、「腹腔鏡で行ったから合併症が増えた」、「癌が再発した」、ではとても低侵襲手術とは呼べません。最近では開腹手術の頻度は減りましたが開腹でなければ行えない症例も少なからず存在します。創の大きさや整容性に配慮しながら、「何が何でも腹腔鏡」ではなく根治性・安全性を最優先にした時に何が患者さんにとってベストかを検討しながら診療を行って行く所存です。



リレー記事

第4回目 医局

先日、大学時代に所属していた合唱団「たちばな」の定期演奏会にお邪魔しました。僭越ながらギター伴奏で1曲だけ参加もさせていただきました。

「たちばな」の主たる活動は京都府立医科大学附属病院で3ヶ月に1回開催されている院内コンサートでの演奏です。最後には全体合唱があり、聴きに來ていただいた患者さんと一緒に季節の歌を歌います。このコンサートは患者さんに楽しんでいただくことが、オーケストラ部と合唱団の部員たちが中心となつて行われています。そこで育まれたホスピタリティの精神が日頃の演奏にも生かされてる…といいなとは思っています。

技術的に難解な曲、内容が哲学的な曲など難しい曲はたくさんありますが、聴いていただいた方の心を動かすのがどれほど難しいか…心温まる歌を歌うというのはとても難しく、難しいこと、未だに私自身もよくわかっておりません。しかし「たちばな」は長年積み重ねた病院でのコンサートのおかげが、それがとても上手なようで、それは音楽の枠を越えた彼らの心の在りようが理

由なのかもしれません。

そのような温かい気持ちで部員から部員へと受け継がれているわけですが、定期演奏会でもそれがしつかりと感じられる演奏をしていて、素敵な時間を過ごすことが出来ました。

京都鞍馬口医療センターでも時折コンサートが開催されているとお聞きしました。前は伺えなかったのですが、今度は是非聴きに行きたいと思っています。

研修医 永井 遼司



平成30年 1月12日(金)

院内 新春コンサートを開催しました



琴の調べとともに新しい年を迎えることができました。お忙しい中、多くのご来場を頂きありがとうございました！

プログラム

- 1. 島のように(調絃 替え) / 2. 六段 / 3. さくら変奏曲
- 4. リングの唄 / 5. 青い山脈
- 6. 冬の童謡(たき火・ゆき・春よこい・春の小川)

4～6は琴の演奏に載せてみんなで合唱しました。

新入職医師紹介



堀内 大介 (泌尿器科)

1日でも早く鞍馬口医療センターの雰囲気にならぬよう頑張っていきたいと思っていますので、よろしく願っています。

(平成30年2月1日付)

次回予告

第56回市民公開講座

平成30年 3月11日(日)を予定しております。

担当 / 内科医師、臨床検査技師